

平成28年11月18日

行政視察活動記録

総務常任委員会
委員長 間嶋 三郎

年月日	平成28年11月7日 から 平成28年11月8日 まで
場所 及び目的	福岡県飯塚市（飯塚市クリーンセンター） ごみ処理施設における長寿命化策について 福岡県糸島市 空き家等対策の取り組みについて

年月日	平成28年11月7日（月）
相手方 及び目的	飯塚市 市民環境部 環境対策課 ごみ処理施設における長寿命化策について
内容・ 結果等	<p>飯塚市は福岡県のほぼ中央に位置する人口約13万人のまちであり、現在、福岡県の北部九州自動車150万台生産拠点推進構想により北部九州への集積が進む自動車関連産業への地元企業の受注拡大・新規参入に努めるとともに、市長のトップセールスによる企業誘致を積極的に行っている。</p> <p>研修先である飯塚市クリーンセンターは、直接溶融・資源化システム（ガス化・高温溶融一体型方式）を採用し、180t/日の処理能力を有する施設であり、平成10年4月の稼働以来18年が経過している。施設内は清掃工場（ごみ溶融処理施設）、リサイクルプラザ、埋立処分場、エコ工房がコンパクトに配置され、持ち込まれたごみの大部分が資源化され、廃棄物を外部に持ち出さない施設となっていた。</p> <p>施設の内、清掃工場の基幹的設備について、操業開始から概ね10年から15年後には大規模改修が必要であることから、環境省が提唱している「ストックマネジメント」の手法に基づいて、平成22年度から平成27年度にかけて合併特例債を活用し、電気・機械設備等の大規模整備により施設の延命化を図っていた。</p> <p>このほか、子ども会や自治会等の資源回収団体に対して、資源回収団体奨励補助金を交付し、古紙、古布、空き缶、空きびん及び菓子類等の缶を回収し、ごみの減量化及び資源化を推進していた。</p> <p>本市においても今回の行政視察で得られたことについて、更に調査研究を進め、積極的なごみ処理施設の長寿命化策について検討する必要があることを感じながら視察を終えました。</p>



備 考

(参加者) 総務常任委員会委員 6 名
総務部 1 名、市民部 1 名、議会事務局 1 名 計 9 名

年月日	平成28年11月8日（火）
相手方及び目的	糸島市 企画部 地域振興課 糸島空き家プロジェクト事務局 空き家等対策の取り組みについて
内容・結果等	<p>糸島市は、福岡県の西部の糸島半島に位置する人口約10万人のまちであり、現在は、政令市である福岡市の西に隣接していることから、ベッドタウンとしての性格を持っている。そのため、都市近郊型の農業や畜産業が盛んで、休日には市内各所にある農畜産物・海産物直売所に多くの人たちが訪れるとのことである。</p> <p>平成17年に九州大学が移転を開始した糸島市では、学研都市化を推進する一方で急増する空き家が問題となっていた。このことから糸島地域と九州大学の学生との連携に向け、糸島の空き家を学生の手によって改修し、「住む」「学ぶ」「集う」など様々な学生生活の場として利活用することで地域と学生のつながりを生み出すことを目的として、平成23年、「糸島空き家プロジェクト」が始まった。</p> <p>このプロジェクトでは、九州大学建築学科の大学院生が中心となり、大学への通学圏内にある空き家を地元の工務店と手を組み、学生のシェアハウスや地域の活動拠点等として利用できるようリフォームするもので、企画・立案・設計・施行に至るまですべて学生が行い、さらには利用者の募集までも行っているとのことであった。</p> <p>このうち「まちの縁側～糸家～」は、築30年の木造平屋建ての物件で、改修前は薬局兼住宅として使われていたもので、現在はシェアハウスとして使われており、九州大学の卒業生が暮らしている。道路に面した部分には『まちの縁側』と呼ばれる土間空間が設けられており、そこで入居者による様々なイベントが催され、地域の人々同士、また地域の人々と学生との交流の場所となっているとのことであり、まさに、居心地のいい“縁側”として機能しているようでありました。</p> <p>改修に係る費用は、家主が支出し、改修後の入居者の家賃収入により回収することとなるが、学生の労務はすべてボランティアであるため費用が安価になること、建築学科に在籍する学生は実際の家を使って学ぶことができるため一石二鳥となっている。市は学生に対し、改修物件までの交通費等を助成するなどして支援をおこなっており持続可能な取り組みとなっていた。</p> <p>本市においても今回の行政視察で得られたことについて更に調査研究を進め、積極的な空き家対策の取り組みについて検討する必要があることを感じながら視察を終えました。</p>



備 考

(参加者) 総務常任委員会委員 6 名
総務部 1 名、市民部 1 名、議会事務局 1 名 計 9 名